



評価基準

評価項目を個別に評価した上で、総合評価を行った。

総合評価	<p>A+：戦略目標の達成に資する十分な成果が得られた</p> <p>A：戦略目標の達成に資する成果が得られた</p> <p>B：戦略目標の達成に資する成果はやや不足である</p> <p>C：戦略目標の達成に資する成果は著しく不足である</p>
------	--

評価項目	評価区分
研究プロジェクト（領域）の設定および運営に対して	<p>a+：特に優れて的確かつ効果的であった</p> <p>a：的確かつ効果的であった</p> <p>b：やや不的確・非効果的な部分が認められた</p> <p>c：著しく不的確であり、効果的でなかった</p>
研究活動の状況	<p>a+：特筆して望ましい研究展開を示した</p> <p>a：良好な研究展開を示した</p> <p>b：やや望ましくない部分があった</p> <p>c：著しく望ましくない研究展開であった</p>
研究成果 （科学技術的側面）	<p>a+：成果として秀逸であった</p> <p>a：成果として良好である</p> <p>b：成果として多少不足である</p> <p>c：成果として極めて不足である</p>
研究成果 （産業・社会的側面）	<p>a+：成果として秀逸である</p> <p>a：成果として良好である</p> <p>b：成果として多少不足である</p> <p>c：成果として極めて不足である</p>

[← 前へ戻る](#)